

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[インプリメンテーション オプション](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、PPPoE クライアントとして動作する Cisco DSL ルータの Point-to-Point Protocol over Ethernet (PPPoE) の実装オプションについて説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

インプリメンテーション オプション

Asymmetric デジタル加入者線 (ADSL) サービスにこれらの PPPoE インプリメンテーション オプションの 1 つを選択して下さい。どちらの実装オプションにも、Network Address Translation (NAT; ネットワーク アドレス変換) オーバーロード、NAT プール、スタティック NAT、および Dynamic Host Control Protocol (DHCP; 動的ホスト制御プロトコル) サーバの設定例が示されています。

ISP が提供する PPPoE サービスの種類を記述する実装を選択して下さい。

- [PPPoE Cisco DSL ルータ クライアント オプション 1?Your](#) ISP は Cisco DSL ルータに単一ダイナミックパブリックIPアドレスを割り当てます。

- [PPPoE Cisco DSL ルータ クライアント オプション 2?Your](#) ISP は Cisco DSL ルータに単一静的なパブリックIPアドレスを割り当てます。

このコンフィギュレーションガイドの[メイン ページ](#)に戻って下さい。

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [Cisco DSL ルータの設定とトラブルシューティング ガイド - PPPoE の実装オプション](#)
- [Cisco DSL ルータの設定とトラブルシューティング ガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)